

大谷山のオオモミジ（未指定）

所在地：庄原市東城町川鳥

指定年月日：未指定

所有者：八幡会

根回り周囲：3.82m

胸高 幹囲：3.05m

樹 高：約 10m

オオモミジは、北海道中部以南から北九州にまで分布する落葉小高木で、山地の森林に生息し、ブナ帯から常緑広葉樹林帯に生息する。庭園木としてもよく栽培される。葉は端正で美しく、通常は7つ（5～9）に掌状に分かれる。4～5月にかけて、展葉直後に花を開く。花は紅色で、雄花と両性花が混在する。果実は1つの花に2つでき、翼があって風で散布される。

本樹は、林道東城中央線の川鳥・戸宇区間の頂上付近の谷あい位置する。

東城町内堀に、庄原市指定天然記念物「大古屋の大モミジ」胸高幹囲 2.50mと2.80mの2樹が指定されているが、このオオモミジは、それを上回る巨樹である。

